

東北森林科学会 第17回大会

2012（平成23）年度

プログラム

と き : 2012年8月22日（水）～23日（木）

と ころ : 秋田県生涯学習センター
（秋田市山王中島町 1-1）

主 催 : 東北森林科学会

共 催 : 秋田県

一般社団法人 日本森林学会

一般社団法人 日本森林技術協会

大会に参加される皆様へ

受付

日時 8月22日(水) 午前9時10分 -

場所 秋田県生涯学習センター3階 講堂入り口前ホール

受付時に大会講演要旨集を配布致します。また、事前に大会参加費、懇親会費をお振り込み頂いていない方は、受付時にお支払いください。事前にお振り込みいただいた参加費は返却いたしかねますのでご了承ください。

大会参加費(当日) (要旨集代を含む)	2,500円
懇親会参加費(当日)	5,000円

総会

日時 8月22日(水) 16:00 - 17:30

場所 3階 講堂

懇親会

日時 8月22日(水) 18:30 - ※ 総会終了時間によっては若干の変更の可能性があります。

場所 秋田キャッスルホテル 4階 矢留の間(秋田市中通1-3-5、TEL:018-834-1141(代))

編集委員会

日時 8月22日(水) 10:00 - 11:00

場所 5階 第4研修室

理事会

日時 8月22日(水) 11:00 - 12:30

場所 5階 第4研修室

昼食、宿泊等について

昼食および宿泊につきましては、各自でご対応いただきますようお願い致します。また、会場の駐車スペースは台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用下さい。

大会日程

	8月22日(水)		8月23日(木)	
9:00	受付		ポスター準備	
10:00	ポスター準備	編集委員会	ポスターセッション B	口頭発表
11:00		理事会		
12:00	ポスターセッション A		ポスター回収	
13:00				
14:00	ポスター回収・準備	テーマ別セッション		
15:00				
16:00	東北森林科学会総会			
17:00				
18:00				
19:00	懇親会			

テーマ別セッション

■ 8月22日(水) 13:00 - 16:00 3階 講堂

間伐は森林機能にどのような影響を及ぼすか？

・趣旨

近年、地方独自課税の創設（森林環境税など）による森林整備への取り組みが全国的に見られます。東北地方では平成18年の福島県と岩手県を皮切りに、山形県（H19）、秋田県（H20）、そして宮城県（H23）で導入され、手入れ不足の針葉樹人工林に対する強度間伐や混交林化が主要な事業となっています。しかし、間伐が水土保全など森林機能に及ぼす影響については十分な知見が得られていません。本セッションでは水文、生態、立地、森林動物など様々な分野からの事例報告を行い、間伐が森林の公益的機能に及ぼす影響について議論します。

・コーディネーター

野口正二（森林総合研究所東北支所）、金子智紀（秋田県森林技術センター）

・事例報告

- 1 スギ・ヒノキ人工林下層に生育する木本種の強度間伐前後 5 年間の生育推移
小岩俊行 (岩手県林技セ)
- 2 スギ人工林の間伐が混交林化と表土保全機能に及ぼす影響
和田 覚 (秋田県森技セ)
- 3 間伐に伴う作業道開設の環境インパクト —秋田県長坂試験地における事例—
野口正二 (森林総研東北)
- 4 スギ林の間伐によるほ乳類の多様性機能の効果
長岐昭彦 (秋田県森技セ)
- 5 間伐を行ったスギ林における生物群集の変化
上野 満 (山形県森研セ)
- 6 スギ人工林における間伐が樹冠通過雨量に及ぼす影響
岩谷綾子 (秋田県森技セ)
- 7 スギ人工林の間伐が流況に及ぼす影響 —秋田県長坂試験地における事例—
金子智紀 (秋田県森技セ)
- 8 間伐に伴う水収支の変化 —茨城県常陸太田試験地の例—
久保田多余子 (森林総研東北)

ポスターセッション

今年度も2日間に分けて実施します。セッション開始時刻までにご自分の番号(下記参照)のパネルにポスターを貼ってください。開催要領でご案内のとおり、パネルは「幅180cm、高さ90cmの横長」です。コアタイムには発表者はポスター前に立って説明し、質疑を受けて下さい。

ポスターセッションA (8月22日、水) 11:00 - 14:00

4階 第1研修室および5階 第3研修室

10:00 - 11:00 ポスター準備

11:30 - 12:30 コアタイム

14:00 - 16:00 ポスターAの回収、ポスターBの準備

- 1 東日本太平洋沖地震大津波による三陸沿岸地域における海岸林土壌の被害状況とその後の土壌環境の変化
小野賢二 (森林総研東北)
- 2 スギ人工林の群状間伐試験地における土壌水分ポテンシャルの季節変動
澤田智志 (秋田県森林整備課)
- 3 林地残材の収穫強度の違いが土壌の交換性塩基動態におよぼす影響の評価
—イオン交換樹脂法による検討—
山田 毅 (森林総研東北)
- 4 根株工法根株の樹幹部と根部の腐朽状況
日野大地 (岩手大院農)
- 5 応力波伝播速度とPe値によるスギ立木のヤング率の推定
大橋一雄 (岩手県林技セ)
- 6 応力波伝搬速度測定による青森県産スギ樹幹内の強度性能
守田託満 (青森県産技セ林研)
- 7 木製サッシに利用する県産スギ材の乾燥技術
古原清一郎 (山形県森研セ)
- 8 木材成分 longifolene の自動酸化による生物活性物質の合成
向井堯徳 (山形大農)
- 9 ヒバ心材抽出物のミズカビ病原菌に対する活性
松浦俊一郎 (山形大農)
- 10 ペレットボイラの暖房運転性能 —2011年度の冬期間における運転実績から—
海老名 寛 (山形県森研セ)
- 11 エネルギー自給としての薪利用の現状と存続の課題 —山形県鶴岡市小名部集落の実態調査から—
小川三四郎 (山形大農)
- 12 秋田県におけるスギ少花粉ミニチュア採種園の状況
佐藤博文 (秋田県森技セ)

- 13 スギ雪害抵抗性ミニチュア採種園産種苗の生育予測 宮下智弘 (山形県森研セ)
- 14 マツノザイセンチュウ抵抗性育種事業における家系内選抜(一次検定)時の接種データとクローン検定(二次検定)時の生存率との関係 玉城 聡 (森林総研林木育種センター東北)
- 15 東北地方におけるコンテナ苗導入の課題 八木橋 勉 (森林総研東北)
- 16 東北育種基本区産マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの開発 山野邊太郎 (森林総研林木育種センター東北)
- 17 節解析による 80 年生スギ個体の幹枝形成履歴 西城孝太 (岩手大院農)
- 18 被陰強度がスギ苗木の樹形形成, 針葉の形態におよぼす影響 白旗 学 (岩手大農)
- 19 針広混交林化整備事業を実施した林分の広葉樹の定着状況 新田響平 (秋田県森技セ)
- 20 ブナ二次林における個体間競争が個体の成長に与える影響 野村征宏 (山形大院農)
- 21 リタートラップの葉量データから再現したブナ林内の光環境と下層個体の成長との関係 高橋 優 (山形大農)
- 22 ブナ林における個体ごとの結実量の違いを考慮に入れた適正保残本数 —長期観察による試算— 菅野広大 (山形大農)
- 23 山形県におけるブナの豊凶予測技術の検証 遠藤貴己 (山形大農)
- 24 ナナカマド果実における種子のパッキング戦略 —種子を何個つめるのが有利なのか?— 澁谷恵子 (山形大院農)
- 25 哺乳類散布樹種ケンポナシの発芽に及ぼす被食の影響 小林峻大 (山形大農)
- 26 ヤマコウモリの樹洞利用と利用可能な樹洞の形態的特徴 遠藤寛士 (山形大院農)
- 27 ギフチョウ属 2 種の産卵環境選択要因からみた下刈りの有効性 脇坂 茜 (山形大院農)

ポスターセッションB (8月23日、木) 9:30 - 12:30

4階 第1研修室および5階 第3研修室

9:00 - 9:30 ポスター準備

11:30 - 12:30 コアタイム

12:30 - 13:00 ポスター回収

- 1 スギ間伐林分の生産工程調査 堀米英明 (山形県森研セ)
- 2 ニセアカシアがクロマツの重量成長に及ぼす影響 三浦美里 (山形大農)
- 3 宮城県海岸クロマツ林の津波被害の現況 南 佳織 (山形大農)
- 4 津波によって根返りしたマツの根系と地下水条件 渡部公一 (山形県森研セ)
- 5 東日本大震災津波で被害を受けた海岸林におけるクロマツ・アカマツの衰退過程 中村克典 (森林総研東北)
- 6 2012年融雪期に発生した地すべり災害と気象特性 岡本 隆 (森林総研東北)
- 7 カラマツ人工林における間伐が繁殖鳥類群集に与える影響Ⅲ —林齢52年で実施された場合の事例— 鈴木祥悟 (森林総研東北)
- 8 山形県における広葉樹林の集団的被害の実態(Ⅱ) 斉藤正一 (山形県森研セ)
- 9 岩手県におけるナラ枯れ被害の発生状況 小澤洋一 (岩手県林技セ)
- 10 ブナ実生の立枯病菌接種による防御物質の変動 市原 優 (森林総研東北)
- 11 ヒノキにおけるスギ黒点病菌の人工接種適期の検討 壽田智久 (福島県林研セ)

- 12 スギノアカネトラカミキリによる虫害を受けたヒノキ材(アカネ材)の成分分析
森川卓哉 (岩手連大院)
- 13 ニオウシメジの低コスト栽培と脂質異常改善効果
菅原冬樹 (秋田県森技セ)
- 14 タモギタケとナメコの栽培における LED の効果
宮脇辰也 (甲南大理工)
- 15 オール秋田でおいしいきのこづくりへの挑戦
照内之尋 (秋田県立大曲農業高校)
- 16 ハタケジメジ菌株の保存方法及び保存年数に関する試験
今埜実希 (宮城県林技総セ)
- 17 ホンシメジ試験地(コナラ林)におけるキノコ相の推移
阿部 実 (秋田県森技セ)
- 18 広葉樹皆伐後荒廃が進んだ林地へワラビポット苗を導入した際の被覆と他植生の侵入状況
古澤優佳 (山形県森研セ)
- 19 広葉樹皆伐直後の林地へのワラビポット苗導入での被覆状況と収量
中村人史 (山形県森研セ)
- 20 青森県の植栽ウルシ林について
飯田昭光 (青森県産技セ林研)
- 21 鶴岡市におけるモウソウチクの分布と管理形態
上野 満 (山形県森林セ)
- 22 特用林産物の生産者と森林組合利用の実態 —山形県最上広域森林組合・小国町森林組合の事例—
津藤亮太 (山形大院農)
- 23 山形県森林研究研修センターにおける森林環境学習推進の取組み
大築和彦 (山形県森林セ)
- 24 道管形成と冬芽萌芽前後の形成層帯における IAA 量の変動
織部雄一朗 (森林総研林木育種セ東北)
- 25 福島県林業研究センター及び多田野試験林の落葉層と土壌における放射性セシウム濃度
蛭田利秀 (福島県林研セ)
- 26 スギ林における土壌・林床山菜類の放射性物質蓄積状況
更級彰史 (宮城県林技総セ)

口頭発表

8月23日(木) 10:00 - 11:15 3階 講堂

口頭発表は1題15分(発表12分、質疑応答3分)厳守でお願いします。発表者は、次の発表の座長を務めて下さい。使用機材は液晶プロジェクターです。配付資料のある発表者は御自身で必要枚数をご準備下さい。USBフラッシュメモリあるいはCD-ROMに保存したPowerPoint用ファイルを9:30までに(できるだけ前日に)会場係にお渡しください。なお、会場のパソコンのWindows XP、PowerPointのバージョンは「2007」の予定です。他のバージョン(2010等)をご使用の方は、必ず「2007」で使用できるようにご準備下さい。パソコンの持ち込みはお断りいたします。

- 10:00-10:15 土壌水分環境からみたウルシ植栽適地の検討
平井敬三 (森林総研)
- 10:15-10:30 複層林ヒバ下木の光合成色素の量的組成から見た適正相対照度
橋本良二 (岩手大農)
- 10:30-10:45 全天空写真撮影によるスギ人工林内光環境推定手法の検討
—プログラムオート撮影と林外測光撮影との比較—
齋藤武史 (森林総研東北)
- 10:45-11:00 小個体は常に森の敗者ではない
森 茂太 (森林総研)
- 11:00-11:15 グーグルアースを用いた東日本大震災津波による海岸林被害の把握手法の検討
小谷英司 (森林総研東北)

大会会場案内図



秋田県生涯学習センター（秋田市山王中島町 1-1）

- 3階 講堂入り口前ホール：受付
講堂：テーマ別セッション、総会、口頭発表
- 4階 第1研修室：ポスターセッションA、ポスターセッションB
- 5階 第3研修室：ポスターセッションA、ポスターセッションB
第4研修室：編集委員会、理事会、休憩室
会議室：大会事務局（8/22のみ）
第5研修室：大会事務局（8/23のみ）

交通案内

●バス

<JR 秋田駅（駅西口）から>

- 中央交通線（県庁市役所経由）
- 中央交通線（南大通り・県庁市役所経由）
- 県立プール線
- 臨海営業所線
- 県庁・寺内経由土崎線

「県立体育館前」下車、徒歩2分

●タクシー 3.2km、約10分

●徒歩 3.2km、40～50分

懇親会会場案内図



秋田キャッスルホテル（秋田県秋田市中通 1-3-5、TEL：018-834-1141（代））

※ 大会会場とは 2.6km ほど離れています。

大会に関する問い合わせ先

〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23

山形大学農学部 森林科学コース内

東北森林科学会 第 17 回大会運営委員会

事務局: 菊池俊一 TEL&FAX 0235-28-2880、kikku@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

柳原 敦 TEL & FAX 0235-28-2927、ayanagi@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp